

2025年12月1日

報道関係者各位
プレスリリース

北海道新聞社

記事の無断利用に対するパープレキシティ社への抗議声明について

株式会社北海道新聞社（本社：札幌市中央区、代表取締役社長：堀井友二）は12月1日、米国生成人工知能（AI）事業社「Perplexity AI, Inc.」（以下、パープレキシティ社）が報道機関の記事を無断で収集、利用しているとして、一般社団法人共同通信社に加盟する全国の地方紙などとともにパープレキシティ社に対して抗議声明を出しました。

北海道新聞社は自社サイト「北海道新聞デジタル」にテキストファイルを設置し、生成AI事業者による記事利用を拒否する意思を明示しています。しかし、これまで実施した独自調査では、パープレキシティ社が無断で当社サイトから記事入手し、検索への回答生成に利用している事例が複数あることが分かりました。当社としては、著作権侵害などの行為がないか引き続き調査を進めてまいります。

北海道新聞社経営管理局のコメント

「生成AI事業者による報道コンテンツの無断収集・利用は、記者が膨大な時間と労力を費やして取材、執筆した成果について、対価を支払わずに『ただ乗り』するものであり、民主主義の根幹をなす健全な報道の確保に負の影響をもたらしかねない。報道機関として看過できない問題で、当社記事に関する著作権侵害などの行為が確認された場合は、法的措置などを視野に厳正に対処したい」

※別紙参考資料 共同通信加盟社によるパープレキシティ社への抗議声明

米国の生成 AI 事業者「Perplexity AI, Inc.」(以下、パープレキシティ社)による報道機関の記事の無断収集・利用行為は、明確な著作権の侵害であり、ジャーナリズムの基盤を根本から搖るがるものとして、看過できません。

わたしたちの地域に根差した報道は、多くの人の知る権利に応え、社会を支えてきました。正確で公正な報道の継続には多大な時間と資源を投じており、パープレキシティ社のようなコンテンツへのフリーライド(ただ乗り)を許せば、取材体制を維持していくことは困難となります。またパープレキシティ社が表示した生成物は、内容に誤りを多数含んでおり、報道機関が長年にわたって培ってきた信用を毀損しています。

わたしたちは、パープレキシティ社に対して、違法な記事収集行為の即時停止と、過去の記事収集・利用行為の実態を説明し、対価を支払うなど適切な行動を取ることを求めます。

2025年12月1日

一般社団法人共同通信社 加盟社一同

北海道新聞社	室蘭民報社
東奥日報社	デーリー東北新聞社
河北新報社	秋田魁新報社
山形新聞社	岩手日報社
福島民報社	福島民友新聞社
下野新聞社	茨城新聞社
上毛新聞社	千葉日報社
スポーツニッポン新聞社	神奈川新聞社
埼玉新聞社	山梨日日新聞社
信濃毎日新聞社	新潟日報社
中日新聞社	中部経済新聞社
伊勢新聞社	静岡新聞社
岐阜新聞社	北日本新聞社

北國新聞社	福井新聞社
京都新聞社	奈良新聞社
神戸新聞社	山陽新聞社
中国新聞社	新日本海新聞社
山陰中央新報社	四国新聞社
愛媛新聞社	徳島新聞社
高知新聞社	西日本新聞社
大分合同新聞社	長崎新聞社
宮崎日日新聞社	佐賀新聞社
熊本日日新聞社	南日本新聞社
沖縄タイムス社	琉球新報社